

多摩第二小学校校舎建替工事基本・実施設計業務委託

に係るプロポーザル

審査結果報告書

多摩第二小学校校舎建替工事基本・実施設計業務委託に係るプロポーザル

審査結果報告書

多摩第二小学校校舎建替工事基本・実施設計業務委託に係る審査会

会 長	上 野 淳	首都大学東京副学長
職務代理	飯 島 文 彦	多摩第二小学校PTCA会長
委 員	伊香賀 俊治	慶應義塾大学教授
委 員	佐 島 規	多摩第二小学校長
委 員	曾 我 好 男	多摩市 総務部長
委 員	川 田 賢 司	多摩市 教育部長
委 員	川 島 清 美	多摩市 教育部参事
委 員	乙 川 真 一	多摩市 総務部建築保全課長
委 員	渡 邊 眞 行	多摩市 教育部教育振興課長

審査経過

多摩第二小学校校舎建替工事基本・実施設計者選定プロポーザルを実施したところ、当初21社から参加表明があり、このうち17社から提案書の提出があった。

第一次審査では、17社の中から各委員の評価点合計の上位5社を一次審査通過者とした。

第二次審査では、一次審査通過者5社から提案内容の具体的な説明を受け、さらに質疑応答を経て、最終審査を行った。

最終審査にあたっては、事務所の規模や経歴、また、一次審査の評価点に拘ることなく提案内容自体に対する評価を重視し、厳正で公明な審査を行うことを基本方針として審議した。

審査結果

二次審査の結果

最適業務候補者を、株式会社 佐藤総合計画（符号番号N：設計事務所）

次席者を、株式会社 日本設計（符号番号L：設計事務所）

として選定された。

平成25年 1月 24日

審査委員会経緯

1. 第1回 審査委員会 平成24年10月 2日 (火)
(会長及び職務代理者の選出、審査会運営、プロポーザル実施要領等並びに評価配点について審議)
2. 第2回 審査委員会 平成24年12月27日 (木)
「第一次審査」
技術提案書提出者17社の中から、5社を選出
二次審査の方法について審議
3. 第3回 審査委員会 平成25年 1月24日 (木)
「第二次審査」
一次審査通過者5社からプレゼン及びヒアリング
最適業務候補者及び次席者を選出

審査経過

1. 第一次審査

第一次審査は平成24年12月27日(木)、市役所第二庁舎会議室にて午後6時より委員全員出席のもとに行われました。

審査は、17社から提出された提案書(審査の公正を期すため社名等を一切伏せたもの)を「1. 技術提案等」「2. 事務所の実力」「3. 担当チームの能力」の3つの評価項目について各委員が評価を行い、その集計結果を基に審議を行いました。

第一次審査通過者の選定にあたっては、当初上位4社と考えていましたが、上位3社は全会一致で異議なく決定されたものの4位以下6位までが僅差であり、4社目を決定することがなかなか難しいものとなりました。そこで、再度、4位から6位までの評価項目を審査し、特に「1. 技術提案等」の部分を重視し、また、各委員の評価の傾向なども考慮し、審議を重ねた結果、第5位までを一次審査通過者として選定することとしました。

第二次審査の進め方については、①審査の公平を期すため提案者の固有名称は最終決定時まで発表しないこと、②選定にあたっては「最適業務候補者」1社とあわせて「次席者」1社も決定すること、③第一次審査の結果は考慮せず、第二次審査での提案者から提案内容の具体的な説明と質疑応答による再評価により委員の合議で最終決定するが、意見が分かれた場合は投票により決定する。ことなどを特に重要な留意点として二次の審査に臨むこととなりました。

2. 第二次審査

第二次審査は平成25年 1月24日(木)、市役所第二庁舎会議室にて午後1時より、委員全員出席のもとに行なわれました。

ヒアリングの開始に先立ち、前回の決定事項や第二次審査における留意点及び注意事項の確認など、公正で厳正な審査に努めることを確認しました。

ヒアリング審査は、第一次審査を通過した5社について、符号番号順(提案書受付時のアルファベット順に付番)に1社当り、プレゼンテーション10分間、質疑応答25分間の計35分間、ヒアリングを行ないました。

プレゼンテーションは、パソコン・プロジェクターを用いてスクリーンに投影する方法としました。なお、画像は提案書に記載されている内容を逸脱することを禁止し、また、追加資料やボード、模型類の持ち込みを禁止とし、あくまでも提案書の内容説明としました。

質疑応答は、会長より総括的質問を、その後各委員からの質問を行い、現状の問題点や課題に対する改善方法や本事業に対する熱意、また、今後、設計を進めていくうえで、行政・学校・保護者等との関わり方、進め方と対応の考え方、等について説明を求めました。

すべてのヒアリングが終了した後、各提案者毎の評価について、技術提案の内容と質疑応答の内容を踏まえ、委員全員から各提案者ごとの感想並びに意見表明を行い、優秀と評価する2社を絞込み、審査会委員全員の合議により、最適業務候補者と、次席者を決定しました。

結果について各審査委員の署名により選定結果を確定させ、多摩第二小学校校舎建替工事基本・実施設計業務委託に係るプロポーザル審査会を閉会としました。

謝辞

この度の多摩第二小学校の校舎建替工事基本・実施設計業務委託に係るプロポーザルにあたって17社より熱意ある密度の高い提案書の提出を受けることができた。なかでも、ヒアリング審査に残った5社の提案内容は水準の高いものであり、その真摯な説明の態度等に審査員一同感銘を受けた。これらご尽力いただいた全ての方々に、審査員一同、深甚なる敬意と謝意を表すものである。

審査会会長 上野 淳

第二次審査講評

●ヒアリング対象者個別評（ヒアリング順）

二次審査における各社の評価は次のとおりである。

「I社」

南北軸による学年クラスターによる構成は注目されたが、各教室が採光・通風・日照などの環境条件を確保できるかについて疑問が残り、支持を集めるには至らなかった。

「L社」

全体を2階建てで納め、教室の南面にこだわるのではなく、2階の普通教室クラスターの環境をトップライト・ハイサイドライトによって担保しようとする意欲的な提案は強く注目された。最後まで最適業務候補者案と競ったが、断面計画の複雑さ、メンテナンス上の課題の多さ、などから最終的な支持を得ることはできず、次席となった。

「N社」

道路騒音を配慮して30mセットバックした配置、学齢段階に応じた学年ユニット、自然採光や通風など無理のない周到的な環境計画、など緻密で前向きな計画提案は多くの支持を集め、最適業務候補者と選定された。但し、メンテナンスを要するテラスが多すぎるのではないかと、グラウンドの面積が狭いのではないかと、などの疑問も提示され、今後、基本設計・実施設計などでは、更なる検討を行うことを期待したい。

「O社」

中廊下式のコンパクトな学年ユニットによる教室構成によって広いグラウンドを確保する計画であるが、特に北側の教室の環境条件が確保できるかなどに疑問が残り、支持は集まらなかった。

「P社」

コンパクトで無難な計画は一定程度の注目を集めた。しかし、学年4クラスになった時の教室の方位などに問題が残り、オーソドックスではあるが特徴や前向きな提案性が希薄であることなどから、強く支持する声は少なかった。